



インターネットでの情報提供			
提供予定日		10月14日(月)	
平成25年10月13日(日) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
国際戦略推進課	総括管理監	高橋 洋子	直通 058-272-8173 内線 2351

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」 知事の海外訪問（インドネシア、シンガポール、タイ、台湾）について（2）

本県では、平成21年度より、官民が協働し主に成長著しいアジアをターゲットとして「観光・食・モノ」を一体化した総合的な岐阜県PRを展開し、海外誘客と県産品の輸出向上につなげる「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を推進しています。

この取組みの一環として、知事が民間事業者と共に、インドネシア、シンガポール、タイ、台湾の4ヶ国・地域を現在訪問していますので、その活動状況を下記のとおりお知らせします。

記

【日 程】 平成25年10月11日(金)～18日(金) 8日間

【目 的】 観光誘客、県産品・農産物輸出の促進

【主な内容（知事日程）】

<インドネシア>

- ・在インドネシア日本国大使公邸における岐阜県交流会開催（観光、県農産物および地場産品紹介）
- ・インドネシアで初開催の観光見本市「ジャパン・トラベル・フェア」参加
- ・著名デザイナーと現地旅行会社が主催する岐阜県PRイベントに出席

<シンガポール>

- ・飛騨牛海外推奨店認定式（高級日本食レストラン「葵匠^{きしやう} Ki-sho」）
- ・格安航空会社 AirAsia と オンライン旅行会社 Expedia の合弁会社「AirAsiaExpedia」訪問

<タイ>

- ・高級ホテル日本食レストラン「きさら」での岐阜県・飛騨牛フェア開催
- ・県内からの進出企業関係者等との意見交換

<台湾>

- ・台湾旅行博「ITF」視察、観光事業者との面談
- ・台湾政府外交部との面談

【民間等からの参加者】

50名（農業・食品関係者、地場産品、蔵元関係者、観光事業関係者、市町村関係者、岐阜県議会議員など）

<10月12日(土) インドネシア>

■大手訪日旅行会社社長との面談

○日時

10月12日(土) 9:45~10:30 (現地時間)

○場所

PT. TAURINA TRAVEL DJAYA (通称 JALAN TOUR: ジャランツアー)

○面談者

矢倉邦夫 社長

Elsa Chandra (エルサ・チャンドラ) 販売部長

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長

堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問 等

○同社について

- ・インセンティブ旅行(企業等が実施する報酬旅行)、企業向けのビジネスチケット、個人向けのパッケージツアーを取り扱い、インドネシアにおける訪日旅行の最大手旅行会社
- ・平成24年度は岐阜県観光連盟と、本年度は岐阜県及び県内の外国人観光客誘致に積極的な12市町村で構成する東海地区外国人観光客誘致促進協議会岐阜県部会と連携事業を実施
- ・同社の店頭には、本県の写真を用いたバナー、ポスター、パンフレットが設置され、DVDの上映も行われるなど、本県と同社は協力関係を構築している。

○主な発言

[知事]

- ・インドネシアで訪日最大手の貴社と連携させていただき、大変ありがたい。これからも色々な形で連携させていただきたい。
- ・まだあまり知られていないが、JRの岐阜羽島駅はバスも駐車できる広いスペースがある。名古屋駅ではそうはいかない。岐阜羽島駅をうまく使えば、ここを拠点として、中部や関西のどこへでも行くことができる。インターチェンジは駅のすぐ近くにある。
- ・あと1年半で東京から金沢まで新幹線が走る。岐阜県へより早く到着できるようになる。

[社長]

- ・岐阜県はインドネシアに真っ先に目を向け、連携の提案をいただいた。今、インドネシアには官も民も注目しており毎日のように訪問を受けている状態だが、当社としては、引き続き、岐阜県との連携について強化していきたいと考えている。
- ・今後は企業のインセンティブ旅行により力を入れていきたい。岐阜県への送客を考えている。
- ・タイやマレーシアは今年ビザが免除された。インドネシアは数次ビザの滞在日数が15日から30日に延長されたが、その効果の実感があまりない。ビザが免除となれば訪日にもっと弾みが付く。ビザ免除に向けて、知事にもご協力いただきたい。
- ・マレー系に富裕層が広がっている。当社の客層もマレー系が増えている。

[販売部長]

- ・白川郷については、既に当社はよい旅行商品を作っている。
- ・インドネシアは家族での旅行が多いため、子供向けの魅力あるプログラムがあることが重要。

[堀副会長]

- ・岐阜県にはインドネシアの家族に喜んでもらえる雪遊び施設が色々ある。着地型商品も数多く用意している。
- ・岐阜県は桜が一ヶ月楽しめる。一つの県でこれだけ長く見ることができるのは、日本の中でもあまりない。
- ・ジャカルタからセントレアへの直行便ができれば、大きな効果が期待できる。

■ジャパン・トラベルフェア視察

○日時

10月12日(土) 11:00~12:20(現地時間)

○場所

プラザ・スナヤン(高級ショッピングセンター)

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、野島征夫 県議、水野正敏 県議、村上孝志 県議
加藤大博 県議、田中勝士 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝
元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問 等

○行事について

◇開催期間 10月12日(土)~13日(日) 2日間

◇内容

- ・日本政府観光局(JNTO)が主催するインドネシアでの訪日旅行フェア
- ・同国の大手訪日旅行会社6社が高級ショッピングセンター内の会場にブースを設け、訪日旅行商品を来場者にPRし、その場で販売
- ・岐阜県では県ブースを設け、他の4つの日本側出展者とともに、来場者への各地・施設の観光PRや情報提供を実施

○概要

- ・知事は、会場到着後、石崎雄久 JNTOジャカルタ事務所長の案内によりフェア会場を視察。県ブースでは、PRを行っている県内市町の観光担当職員や民間事業者を激励した。ジャカルタ岐阜県人会のメンバーも応援に駆け付けた。
- ・オープニングセレモニーでは、ジャカルタ太鼓クラブによる太鼓パフォーマンス、石崎所長の挨拶に続き、日本側出展者を代表し知事がステージで挨拶を行った。知事の周りには、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長が立ち、全員法被を着て日本及び岐阜県をPRした。その後、知事は、石崎所長とともに太鼓をたたき、フェア開始を宣言した。

○会場の様子

- ・出展している旅行会社6社のうち、ジャランツアーなど3社が本県を訪問する旅行商品を販売
- ・県内市町の観光担当者は浴衣や法被を着て来場者へのPRを精力的に実施

○主な発言

[所長挨拶]

- ・JNTOは近くジャカルタにオフィスを開設し、インドネシアの人々の訪日のお手伝いを行う予定
- ・日本への旅行を是非検討いただきたい。また、友人や周りの人に当フェアが行われていることを伝えてほしい。

[知事挨拶]

- ・偉大なインドネシアの皆さんに、日本に来て、日本の素晴らしさを知ってもらいたい。
- ・会場には、日本の各地からブースが出展している。また6つのツアーエージェントが日本へのツアーを組んでくれている。
- ・岐阜県には本物の日本がある。観光地、食べ物、工芸品など全て揃っている。
- ・2020年には東京オリンピックがある。合言葉は「おもてなし」。おもてなしの心を持って皆様をお迎えする。次は日本で、岐阜で会いましょう。

■ジャカルタ・ジャパン・クラブ関係者との昼食懇談

○日時

10月12日(土) 12:30~14:40(現地時間)

○場所

TESATE

○面談者

野波雅裕 副理事長兼法人部会長、相談役
富吉賢一 調査部会長
渡邊泰明 運営委員
吉田晋 事務局長

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長
神野達雄 J E T R O岐阜貿易情報センター所長、県国際戦略推進課長

○概要

- ・インドネシア最大の日本企業・日本人の団体であるジャカルタ・ジャパン・クラブの幹部と、インドネシアの経済、ビジネス等、各種事情について昼食を取りながら状況を聞き意見交換を行うとともに、知事からは、本県の「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の取組みの説明と協力依頼を行った。
- ・野波会長からは、本県の当戦略プロジェクトについて、観光と観光に関連する食と県産品を結び付けるという手法は、ターゲットが絞れており、とてもよい戦略であるとの発言があった。

■GAS候補店視察

○日時

10月12日(土) 15:10~16:15 (現地時間)

○場所

dia. lo. gue. (ディア・ロ・グエ)

○面談者

Hermawan Tanzil (ヘルマワン・タンジル) オーナー、グラフィックデザイナー
Engel Tanzil (エンゼル・タンジル) オーナー

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長
神野達雄 J E T R O岐阜貿易情報センター所長、県観光交流推進局顧問、県地域産業課長 等

○GASについて

- ・GASとは、海外アンテナショップ (Global Antenna Shop) の意味
- ・今後3年間で、海外の主要都市10ヶ所に岐阜県産品を販売する連携型アンテナショップ(*)を構築し、海外販売の商流の確立を目指すもの。ジャカルタは、主要都市の1つとして位置づけている。
*県直営ではなく、海外の既存の小売・卸売店、輸入業者と連携し、その店舗や販路等を活用する県産品の継続販売拠点

○dia. lo. gue. について

- ・2010年設立。夫婦で経営
- ・同店には、ショップのほか、ギャラリー、カフェ、フリースペースがあり、アーティストやデザイナーが手掛けたオリジナルグッズの他、アクセサリ、文具類、バッグなどの小物を販売している。
- ・インドネシアでは、クリエイティブな工業製品が敬意をもってとらえられることは一般的に少なく、デザイン、文化、芸術の評価がまだまだ低いと感じていることから、店舗コンセプトを、それらの理解を深め、人材を育成し、良質な芸術によって人々の生活を豊かにすることに置いている。具体的には、欧州等からデザイナーを招へいし、インドネシアの若手デザイナー等との交流事業等の実施など。

○概要

- ・知事は、両オーナーの案内で店舗を視察した後、同店の商品選定や店舗運営の考え方等について質問し、また本県との連携事業への参画を要請した。加えて、昨日11日に鹿取駐インドネシア日本国大使公邸での岐阜県交流会で展示した県産品の一部商品(はさみ、爪切り、包丁、陶磁器、和紙製品、木工製品等)への評価、インドネシアでの販売の可能性について考えを聞いた。

○主な発言

[オーナー]

- ・販売しているほとんどの商品は、地元デザイナーによる手作り商品。バリに住む日本人デザイナーのスカーフもある。
- ・（販売している）椅子は、インドネシア人がデザインし、スイスで作ったもの。（インドネシアとスイスのコラボ）
- ・商品販売だけでなく、アートの展示やトークショーなどのイベントも展開。日本の建築家との連携イベントも実施した。岐阜県とのコラボも考えられる。
- ・美濃和紙には興味がある。自分がデザインしたものを和紙で作ってみたい。
- ・いかにも「日本」というものではなく、日本風ではあるがデザインが重視されている商品なら売れると思っている。また、単にデザインが良ければよいわけではなく、商品にストーリー（物語）がある商品であることも重要

[知事]

- ・岐阜に出来るだけ早い時期に来ていただき、色々な商品を見ていただきたい。岐阜県との連携事業の実施をお願いしたい。岐阜県には、趣向に合った良いものがたくさんある。
- ・本県の関連イベントを店舗内で実施することも検討できる。

■ジャカルタ岐阜県人会との夕食懇談

○日時

10月12日（土）18：00～20：30（現地時間）

○場所

丸福

○出席者

◇ジャカルタ岐阜県人会（11名）

上田康広 会長、今井田和久 副会長、長窪健也 事務局長 等

◇岐阜県関係者出席者（26名）

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、野島征夫 県議、水野正敏 県議、村上孝志 県議、加藤大博 県議、田中勝士 県議、國島芳明 高山市長、足立能夫 全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長、桑田博之 全国農業協同組合連合会岐阜県本部長、加藤孝義 岐阜県園芸特産振興会花き部会長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、堀田茂樹（有）レイク・ルイズ社長、神野達雄 J E T R O 岐阜所長、県農政部長、県観光交流推進局顧問、県地域産業課長、県国際戦略推進課長 等

○概要

- ・2012年に設立され、42名の会員を持つジャカルタ岐阜県人会（通称：A h 湯会）の有志とインドネシア訪問中の岐阜県関係者との夕食懇談会を開催した。
- ・インドネシアの各種事情について県人会参加者から現状を聞くとともに、インドネシアにおける岐阜県の知名度向上への協力や連携強化等について意見交換を行った。



ジャパン・トラベルフェア 知事挨拶



ジャパン・トラベルフェア 県ブース知事激励



GAS 候補店との意見交換